

PALSAR 干渉処理によるより高精度な地球観測

PALSAR Interferometry and high precision earth observation.

島田 政信 [1]

Masanobu Shimada[1]

[1] なし

[1] EORC, JAXA

<http://www.eorc.jaxa.jp/en/index.html>

地球観測衛星 "だいち" が打ち上げられて1年が過ぎた。この衛星の特徴は、森林を透過する特徴を有するLバンド SAR を搭載すること、更には世界初の多偏波 SAR を持っていることである。Lバンド SAR の干渉処理が地殻変動抽出に適していることは、地球資源衛星1号(ふよう)に搭載された同等のセンサで実証された。しかし、更に高品質さを備えた PALSAR はその干渉の精度と品質を高めている。さらに、異なる偏波毎の干渉により地殻変動のみならず、サブレイヤーでの物理量抽出が見えてきている。例えば、多重層と見なせる森林層の高さがそれである。更には、積雪量の推定にも手が届こうとしている。本発表は、L-band InSAR の開く世界とその達成目標について紹介する。